

愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年11月5日

第102号(通巻)

文責(校長;末永栄喜)



結束力を歌声に乗せて♪

先週の水曜日は、昨年に続いて全校生徒、全保護者をあげて盛大に合唱コンクールを開催することができました。保護者の皆さま、お忙しい中たくさんのご参観、誠にありがとうございました。来賓を含めて200名弱の来場がありました。いかがだったでしょうか。子どもたちの想いは届いたでしょうか。



遡れば7月(1学期末)から始まった準備でした。夏休みの個人パート練習を含め、10月に入ってから学級ごとに何回も何回も歌い込んできました。言わば4か月間の集大成だったわけですが、出番は課題曲、自由曲の2曲でしかも、わずか数分です。だからこそ、その曲に込めた思いや気持ちは濃いものがありました。

1年生は男女数のアンバランスというハンデがあったものの、懸命に大きな声で歌っていたところが印象的でした。2年生は総数そのものが少ないというハンデをお互いにカバーし合い、美しいハーモニーを奏でていました。



そして、圧巻はやはり3年生でした。声量も調和も表現力もすべてにおいて圧倒的な合唱でした。学年合唱も胸に迫るものがあり、その成長を歌声で証明してくれました。

合唱コンクールにはつきものですが、今回も幾多のトラブルやアクシデント、そして学級が有する課題を乗り越えながら本番に臨んだコンクールでした。ご参観いただいた外部の方からもたくさんのお褒めの言葉をいただき、鼻高々でした。

一方で、ご指摘というより厳しいお叱りも受けました。余韻に浸っていた翌日にこの話を聞いて、とても残念に思ったところです。それは、施設利用上のマナーについてでした。たくさんの方が集う公共施設の使い方に関心があったようです。前日のリハーサルの中でも、センター利用上の指導があっただけにもかかわらず、そのことが行き届いていなかったようです。気持ちの高揚や結束力の誇示という点を差し引いても、守るべきルールから逸脱した行為は許されません。これから社会に出ても大いに関係あることです。反省すべきはしっかりと反省し、今後に生かしたい教訓でした。少し後味が悪い話になって申し訳ありません。



子どもたちの努力に水を差したくないし、ここで終わっては本意ではないので最後は嬉しい内容で結びたいと思います。今回も、審査員として千々石中学校の植木先生、島原高校からも植木先生をお招きしましたが、最後の講評の中に教頭先生のコメントとともに、それぞれからお褒めの言葉や今後歌う時のアドバイスをいただきました。その話に熱心に聞き入っていた姿が印象的でした。

ちなみに、翌日は県駅伝大会に向けた激励式がありましたが、全校生徒で歌った校歌は今まで一番大きくてきれいな歌声でした。これをずっと続けてほしいですね。行事を通した子どもたちの成長を垣間見ることができました。



小ぶいな芋 でもどっさり収穫できました!!

第97号で掲載した芋の苗に関するウンチクですが、収穫に必要な数字(日数)を覚えていますか。そう、「110日」でしたね。先々週、2年生の技術科(栽培領域)の授業で芋を収穫しました。驚くほどの大きな芋はありませんでしたが、程よい大きさの芋がたくさん収穫できました。子どもたちも楽しそうに掘っていました。10月に掘った芋なので、きっとおいしいに違いありません。ちなみに、苗植えから数えて



120日目でした。しばらく学校に置いて、食べ頃になったら持ち帰らせたいと思います。楽しみにお待ちしております。



「愛の基金」

～島原更生保護女性会より～

犯罪のない明るい社会の実現に寄与することを目的とする有志女性のボランティア団体である島原更生保護女性会より、基金の一部を本校にいただきました。この「愛の基金」は、平成16年に収益金の中から設立されたそうです。毎年、公共施設に5万円相当の品物を寄贈(実際は現金)されているとのこと、今年度はありがたいことにその順番が本校に回ってきたのです。

時間をかけて先生方と相談し、上皿自動秤(写真)を購入しました。毎日の給食で出る残菜量を図る機器が長年の使用で壊れかけていたため、これを優先させていただきました。金額は13,860円でしたので、まだ半分以上の残額があります。慎重に審議して、次回も有効に活用したいと思います。



世代交代迫る!

今日、生徒会役員選挙の告示がされ、8日(金)から立候補の受付が始まります。13日(水)の公示後、選挙運動を経て29日(金)に選挙を迎えます。

